

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02010040

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成30年度以降 制度実施・PR
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B		
単位施策	4	財政の安定化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	ふるさと応援事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	2 財務企画課		
事業主体	町		関係課	9 産業振興課		
事業指標	寄附件数			#N/A		
事業目標	年間15000件		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	無		関係例規・法令名	有 雄武町ふるさと応援寄附条例、同施行規則、寄附に対する感謝状贈呈に関する規程		
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	寄附金の増加とあわせて町のPRを行うため、現状の寄附制度の見直しを図り、新制度により実施する。		調査・検計	調査・検計 新制度実施・広報(PR)	新制度実施・広報(PR)	新制度実施・広報(PR)
計 画 事 業 費	事業費(千円)	215,066	0	66,566	66,500	82,000
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	189,410		40,910	66,500	82,000
	一般財源	25,656		25,656		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	264,116	0	49,654	106,176	108,286
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	259,694		45,232	106,176	108,286
	一般財源	4,422		4,422		
	特定財源の名称 基金繰入金	【評価・実績】	(実施内容等) 調査・検計 ※事務事業評価結果	(実施内容等) 調査・検計 新制度実施・広報(PR) ※事務事業評価結果 B-継続/拡充	(実施内容等) 新制度実施・広報(PR) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 新制度実施・広報(PR) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	6300件(寄附金額 92,000千円)	11220件(寄附金額 100,000千円)
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	0%	75%	160%
		全体達成率	0%	0%	23%	72%
		備考欄				

事業名	ふるさと応援事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	財政係長	松田 智子

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	①雄武町民 ②雄武町の応援者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	寄附金による自主財源の増加								
【抱える課題やニーズは】	①自主財源が乏しく、町民のニーズにあった事業展開が乏しい。 ②地元特産品を宣伝・PRするノウハウが少ない。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	①寄附金による自主財源の増加が期待される。 ②寄附者へ地元特産品を贈呈することにより、町のPR効果につながる。	① 寄附件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>15,000件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>15,081件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.5%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	15,000件	実績値	15,081件	達成度	100.5%
目標年度	平成29年度										
目標値	15,000件										
実績値	15,081件										
達成度	100.5%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	①町財政の健全化が図られ、魅力ある町づくりを展開することができる。 ②地元特産品の流通が高まる。	② 寄附金額	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>120,000千円</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>157,448千円</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>131.2%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	120,000千円	実績値	157,448千円	達成度	131.2%
目標年度	平成29年度										
目標値	120,000千円										
実績値	157,448千円										
達成度	131.2%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	特産品の内容充実	特産品の内容を充実させることにより、寄附件数及び寄附金額の増を図った。									
	「ふるさとチョイス」でのポイント制導入	連携を行っているふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」でのポイント制を導入したことにより、寄附者が好きなタイミングで特産品と交換でき、また、年末の駆け込み寄附申込に対応可能となったことから、寄附金額の増を図ることができた。									
	ふるさと納税システム導入	寄附情報管理のため、ふるさと納税システムを導入したことにより事務の負担軽減を図った。また、寄附者に対する個人情報保護の観点から、町内事業者が行っていた宅配伝票作成について、システムを活用することにより町職員が作成することに移行できた。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	寄附者へ地元特産品を贈呈することにより、町のPRにつながるのと同時に、財政の健全化が図られ、新たな魅力ある町づくりを展開することができることから、事業の実施が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町の特産品を贈呈することにより、町のPRにつながるのと同時に、自主財源の確保を図ることができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	「ふるさとチョイス」でのポイント制導入及び特産品の内容充実を行ったことから、寄附件数及び寄附金額の増が図られた。また、ふるさと納税システムを導入したことにより、事務作業の軽減を図ることができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	寄附金による自主財源増加が期待できることから、町民にとっても公平であると判断できる。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
寄附者へ地元特産品を贈呈することにより、町のPRにつながるのと同時に自主財源を確保することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
寄附者に地元特産品を贈呈することは、町のPRにつながるのと同時に町財政の健全化が図られる。今後も制度の動向に注視しながら、計画を進めていく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止